

# だんないの道

## 第16号

2014年12月8日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町  
千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ ..... P1

祭のあと ..... P2

活動報告 ..... P4

バリアフリーの街へ向けて ..... P2

職員リレートーク ..... P3

コラム ヨリの雑記帳 ..... P6

### 代表あいさつ

「開催おめでとうございます。」

「ありがとうございます。よく来て下さいました。」

「ほんでも、ようがんばらあるわ。」

「いやいや、皆さんのおかげです。」

これは、11月3日だんない祭り当日に来ていただいた方々と私との、よくやりとりした会話の内容です。みなさんは、もちろん私の目を見て、話をされます。そして私は、自然に受け答えする。それが、いったいどうしたんだと思われるかもしれません。しかし、私にとっては、とても新鮮なやりとりでした。というのも、普段はなかなか私の目を見て話して下さる方はおらず、介助者や家族に話しかける、いわゆる「健常者探し」という行為がよく見受けられたからです。それゆえ、そのやりとりはとても新鮮で、嬉しくもあり、ありがたかった一方で、自然なやりとりをそのように感じてしまうことにさみしさを覚えました。

改めまして、だんない祭りにご協力いただいたり、お越しいただいたりしたみなさまに、厚く感謝申し上げます。今回は、3組の団体にご出演いただきました。LALALA さんにはリコーダーやフルート、ハンドベル、ギター、バイオリンなどの合奏をしていただきました。また、メイプルさんにはお琴演奏を、こほく玉ちゃん会さんには大道芸を演じながら、みなさんを楽しませていただきました。豚汁やフランクフルト、お酒なども振る舞いました。おかげさまで、雨が徹しく降るなか、80名ほどの方々がお越しく下さいました。雨のため急きょ、だんない事務所内で行うことになり、出演者や鑑賞されたみなさまには窮屈な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。しかし、それがかえって暖かい雰囲気させたとも言え、結果的にはよかったと思いました。このイベントに対し、豚汁の野菜など差し入れをいただくなど、たくさんのお志もいただきました。改めて、木之本町や千田自治会のだんないに対する暖かさを実感した次第です。だんないの活動にも、一層力を入れていこうと気持ちを新たにしました。今後とも、暖かく見守っていただきますようよろしくお願い申し上げます。

ところで、12月7日にタウンホームにおいて「なんでも自慢大会」を開催しました。これは、今年の春から活動している湖北ピア・カウンセリング委員会の事業として企画されたもので、委員会としての本格的な最初の事業です。この会を盛り上げて良いスタートを切り、第2弾・第3弾企画につなげていきたいと思っております。今後いろいろな会場で開催するので、お知り合いに障害当事者の方がおられましたら、是非ご紹介ください。

もう12月。この冬は寒くなりそうです。2年前の、あの豪雪風景が思い起こされます。大雪となっても、この活動ペースをできる限り維持していけるように頑張っていく所存です。お近くを通られた際は、是非お寄りいただき、ゲキを飛ばしていただければ幸いです。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

美濃部 裕道

# バリアフリーの街へ向けて

小里 和也

だんないでは、バリアフリー調査の一環で、ステッカー貼りを7月くらいから行っています。

ステッカーとは、名古屋のCIL が配布されている「店舗の利用に困難のある方へ お手伝いします お気軽にどうぞ」という内容のステッカーです。

お手伝いステッカーをこのだんないの地域である長浜全体に貼ってもらうことで、活動アピールや、車椅子でも気軽に入れる店が増えるといいなという思いでステッカー貼りを行っています。

これまでに活動してきた地域は

- ・木之本 約40店舗に配布 約半数が貼付
- ・彦根 約25店舗に配布 約8店舗が貼付
- ・長浜 約20店舗に配布 約5店舗が貼付
- ・高月 約10店舗に配布 約4店舗が貼付

店舗に行くと、最初は凄く警戒された様子でしたが、趣旨を説明すると理解してもらい、心よく受け取ってもらうことができました。

しかし、その一方で、「どんなお手伝いをしたらいいかわからない」「車椅子の方は来ません」などのことを言われたりしました。

最近では、店に行ったら個人個人で随時ステッカーを配布しています。

これからは、長浜を重点的に配布し、車椅子でも入れる店の把握や、僕たちの活動内容を、ステッカー貼りを通して伝えていきたいです。

---

## 祭のあと

中川 佑希

11月3日に開催した第1回だんない祭。当日は悪天候にも関わらず、想像以上の多くの方々が来て下さり大変嬉しかったです。急遽、会場を室内に変更した際も皆さんがー丸となって手伝って下さったので、スムーズに進行していきました。会場ではコーラス、南京玉すだれ、琴演奏があり室内だったので距離が近く、一体感がありました。

その他、外ではおにぎり、豚汁、焼き鳥なども地域の皆さんの協力のもと完売しました。お子さんもたくさん来てくれて私も楽しかったです。

今回のだんない祭を通して、地域の繋がりの大切さを実感しました。普段の様子や活動をあまり知ってもらう機会が少ないので、祭をきっかけとして地域の方々との親睦を深め人間関係を構築されることによって障害観を変革し、地域社会を変革していけるのだと強く思いました。そこから学んだのは企画を立て、情報を発信していき協力し合うことの重要を改めて感じることができました。なぜなら、日常生活の中では隣近所との人を知らなくても、直接会話をしなくても情報やコミュニケーションがとれるそういう時代だからこそ行動をしていき、関わり合う場を作っていくが大切さに気づけた機会でした。この気持ちを忘れずに活動していきたいです。読んで頂きありがとうございました。

## 職員リレートーク

### 「だんない祭」に参加して

ボランティア 西堀 敬

8月半ば過ぎより「C I Lだんない」にボランティアとしてお世話になっています。ここのメンバー、ヘルパーはみんな若く、ただ一人60を過ぎたおじさんは少し?だいたい浮いているように感じながらお世話になっています。それでもみなさんに交じってかなり気ままに活動やおしゃべりに加えてもらっています。

今回、美濃部代表から「だんないの道」への原稿の依頼を受け、「いいですよ。」と気楽に引き受けてしまいました。ところが何分新参者。活動に長く参加しているわけではなく、えらそうなことを書いても底が知れてしまいます。それに数少ない私の障害者感を披露したところで、私が考えているようなことは既に既刊の「だんないの道」皆さんによって書かれていることばかり。そこで私が「だんない」の活動で唯一いらか役割を担って、関わらせていただいた「だんない祭」について感じたことを話させていただきます。

「だんない祭」は11月3日(祝)に開催しました。当日は雨模様。出演いただいた音楽演奏(LALALA)、大道芸(こほく玉ちゃん会)、お琴(メイプル)の演奏は、急遽すべて事務所内で行うことになりました。狭い場所での演奏や演技に関わらず、皆さん祭りを盛り上げていただきました。観客も開始時間の11時前から多くの近所の方たちが集まって来ていただきました。豚汁、おにぎり、フランクフルト、焼き鳥、飲み物、お酒なども振舞わせていただき、屋外でも楽しんでいただきました。残念だったのは入念な準備を進めていた頼尊氏のすばらしい音響設備が使えなかったこと、観客を笑わせるべく張り切っていた小里、中川両氏による漫才が披露できなかったことにありますが、今回は今年以上に盛り上げて行きたいものです。

しかし、今回の「だんない祭」の盛り上がりは、忙しい中ご出演いただいた皆様、準備に取り組んだスタッフの貢献もありますが、何よりたくさんの方の参加をいただいた木之本町千田地区の皆様のお蔭に依るところが大きかったと思います。千田地区を知らぬ私は、日頃、人の姿をあまり見かけないこの地域で行うイベントに人が集まるだろうかと危惧をしていました。そのような中、人は集まってくれるという自信を持っていたのは美濃部代表だけでした。さすが地元だけあります。当日は私の心配は見事に裏切られ、雨模様に関わらず80名ほどの方が「祭」に来ていただきました。狭い事務所は入りきれぬ人もありました。

このイベントを通じて私は「だんない」の活動が地域の人に支えられ、広がっていくものと感じました。終わった後も参加された方からは温かい声をかけていただきました。障害者を取り巻く問題は常に外に向かって声を上げて行くことが必要だと思いますが、身近で活動を見てくださっている地域の皆様の理解が大きな力となって行くことでしょう。私も「だんない祭」を共に準備、運営する中で少しは「だんない」の一員になれたかなと感じます。

## 活動報告

日付	内容	参加者
10月1日	楠さんお別れ会	頼尊
10月5日	北部地域・障害者ネットワーク会議	美濃部 頼尊 小里
10月5日	ピアカウンセリング入門講座 in ぼてとファーム	美濃部 小里
10月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
10月6日	だんない企画会議	
10月8日	大和学園 講演	中川
10月8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
10月10日	アクセス関西ネットワーク集会	美濃部 頼尊 小里 中川
10月14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局ケース会議	美濃部 頼尊
10月15日	じゅぶ会議	中川
10月16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部 市川
10月16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	市川
10月18日	なんばおにごっこ	美濃部 頼尊 小里 中川
10月19日	秋桜フェスタ Part19	小里 中川
10月20日	だんないバリアフリー調査 高月	
10月23日	葉山中学校 講演	中川
10月24日	難病の障害を考える研究集会	頼尊
10月25日	介護保障を考える弁護士と障害者の会全国ネット 結成2周年記念シンポジウム	頼尊
10月25日	「障害」児教育研究集会	頼尊
10月26日	だんないピアカウンセリング講座	
10月28日	福祉の職場説明会	美濃部 市川 小里
10月28日	天気村 講演	中川
11月1日	障害者差別解消法とガイドライン学習会	頼尊
11月1日	地域医療福祉フォーラム2014 住み慣れた場所で逝くこと、看とること	市川

11月2日	ぼてとファーム評議委員会	美濃部
11月3日	だんないまつり	
11月4日	ピアカウンセリング委員会 in ぼてとファーム	美濃部 小里
11月5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会	美濃部
11月7日	自立生活プログラム（紅葉を見に行こう）in 米原市清滝	
11月10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	美濃部 頼尊
11月11日～12日	JIL 関西ブロックIL 合宿	美濃部 頼尊 小里 中川
11月12日	野洲高校 講演	中川
11月17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	市川 頼尊
11月18日	だんない企画会議	
11月19日	湖南農業高校 講演	中川
11月19日	びわこ成蹊スポーツ大学 講演	美濃部
11月20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部 市川
11月20日	北星高校 講演	美濃部
11月21日	自立生活プログラム（たこ焼き作り）	
11月23日	だんないピアカウンセリング講座	
11月24日	地域でつながるスポーツフェスタ2014	美濃部 小里
11月25日	第2回新琵琶湖博物館創造ユニバーサルデザイン評価会議	美濃部
11月26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
11月28日	息長小学校 講演	美濃部 市川
11月30日	北部地域・障害者ネットワーク会議	美濃部 頼尊 小里

## コラム

### ヨリの雑記帳（15）

最近、ある大手ホテルチェーンが、バリアフリー新法で定められているバリアフリーの客室を車椅子が旋回できるスペースを確保しているという理由から、デラックスルームと称して、別途特別料金を徴収し出していることが明確になってきた。もちろん、同法では、「客室の総数が50以上で、車いす使用者用客室を1以上設ける」ことと、ハードやソフト面で詳細な基準があるが、価格設定については基準がない。

某ホテルチェーンが増設料金を取り出したのは、最近のことである。私は、約5年前から同チェーン店のバリアフリールームを使用しているが、通常のシングルルームやツインルームの価格や格安ホテル予約サイトからの予約の価格でも同室に宿泊が可能であった。そのような状況が1年ぐらい前から、変わりだした。はじめは、東京の新築店舗から別途料金を徴収し始め、今では特別料金を徴収していなかった旧店舗も特別料金を徴収する店舗が出てきている。

某ホテルチェーンの経営方針について、法律上は問題が無いとしかいえない。が、しかしである。某ホテルチェーンの最近の新築店舗にはバリアフリールーム以外に、デラックス仕様の宿泊施設がある店舗もあるようだが、旧店舗群は、バリアフリールーム以外にそのような仕様の部屋がない。旧店舗群の同室は、あきらかに、バリアフリー法適用のために作らざるを得なかった部屋なのである。だからこそ、一般価格で車いす利用者に販売していたのである。それを、近年になってから、旧店舗群のバリアフリー法適用のためのバリアフリールームまでもデラックスルームとして、車いす利用者に別途料金を徴収しだしているのである。

地方の個人経営のホテルでは、車椅子に対応していないという理由での宿泊拒否こそあれ、東横インチェーンをはじめとする他のビジネスホテルチェーンやその他のホテルでも、バリアフリールームだけを特別料金を徴収するケースはほとんど無いといえる。そのような中で、同ホテルチェーンの組織的なバリアフリールームのデラックスルーム化は、時代にずいぶん逆行しているといえよう。

バリアフリールームに宿泊せざる得ない人々がいて、その人々のために、法律的にバリアフリールームが提供されている。その事実を目を付けて、一儲けしようとしているのは、一種の「迷惑料か？」と耳を疑いたくなる。

でも、これらのいわゆる横暴を法的に規制するものはわが国にない。これからも車いすユーザーはこの「不自然な日常」を生きざるを得ないのである。

でも、真逆の現実もある。最近のことである。北の大地の超老舗ホテルに宿泊するご縁があった。そのホテルしか空室がなかったので、超高級老舗ホテルとは知らず予約を取ったのであるが、老舗だから、休館はドア幅が狭かったらしい。ホテルマンは「狭いですよ」といいながら、旧館を案内し、「やっぱり狭いので・・・」と言いながら新館に案内され、通された部屋は、なんと！セミ・スイートルームだった。それには本当に恐縮した。某ホテルマン氏言わく、その部屋しか車椅子が入れないとのこと。私は何度も、「別料金払います」と言ったが、結局、受け取ってもらえなかった。ん。〇〇ホテル様、ほんとうにありがとうございました。

（よりたか つねのぶ）

だんない写真館





NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

URL : [www.ab.auone-net.jp/~dannai](http://www.ab.auone-net.jp/~dannai)

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店  
加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

E-mail : [dannai@ae.auone-net.jp](mailto:dannai@ae.auone-net.jp)

00940-2-209115